

講義コード	1002	科目区分	専門教育科目(専門共通科目)
(フリガナ)	ヨウジリカイノリロントホウホウ	(フリガナ)	ヤマグチ キョウト・クニヒロカツヨ
授業科目名	幼児理解の理論と方法	担当教員名	山口 季音・国広勝代
英文授業科目名			
基準年次(開講期)	1年次(後期)	履修形態	選択(保育士選択必修科目)
曜日/時限/講義室	火曜/1時限/保育実習室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心、観察実習、学生の発表
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	観察、記録、幼児理解		
授業概要・目的	本授業では、幼児理解のための観察方法や記録の取り方を学ぶ。ビデオ視聴はもちろんのこと、実際の保育現場にも出かけ、子どもの言動を記録すると共に、それについて発表し議論を行う。そのことを通して、幼児理解の重要性に気づき、観察能力を高めることを目的とする。		
到達度評価の 評価項目	①観察の意義について理解する。 ②様々な観察方法と記録の取り方について知る。 ③幼児の言動の意味について推察することができるようになる。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 授業の概要について		
第2回	観察の方法と記録について 参与観察と非参与観察、フィールドワーク		
第3回	ビデオ視聴による観察記録 幼児理解と観察のポイント		
第4回	観察におけるマナー 観察実習の心構えと詳細について		
第5回	各自の観察記録についての意見交換の視点 観察実習前の準備		
第6回	観察実習① 幼稚園		
第7回	観察実習① 幼稚園		
第8回	観察記録の発表とフィードバック 発表、観察実習の反省点について		
第9回	記録の書き方のフィードバック 次回観察実習の課題について		
第10回	観察実習② 保育所		
第11回	観察実習② 保育所		
第12回	フィードバック① 発表、観察実習の反省点について		
第13回	フィードバック② 考察、気づきの書き方について		
第14回	指導に生かす幼児理解 子どもを理解するための視点と考え方		
第15回	まとめ 発表:観察実習から学んだことについて		
教科書・参考書等	適宜必要な資料を配付する。参考文献として、今井和子編著『保育を変える 記録の書き方 評価の仕方』ひとなる書房、2009年。		
授業で使用する 機器等	プロジェクター、映像機器		
予習・復習への アドバイス	授業中に配布した資料や講義の内容を復習することが望ましい。		
履修上の注意・ 受講条件等	・保育士選択必修科目		
成績評価の基準等	授業態度、レポートおよび観察記録の書き方等総合的に判断する。 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) 提出課題(20/100) 3) 観察記録(50/100)		
メッセージ	遅刻や授業中の私語、課題提出が遅れた等、減点の対象となる。		
オフィス・アワー	木曜4限		
その他			